

デジタル アーカイブ学会 第7回研究大会

日時

2022年11月25日(金)～26日(土)

開催地

11/25 琉球大学

11/26 那覇市内周辺分散会場

主催

デジタルアーカイブ学会



タナシ 浅葱地流水紅葉若松雲模様 (東京国立博物館)
https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/l-2830?locale=ja

プログラム

■ 11月25日(金)

- チュートリアル(午前中)
- 一般研究発表
- 基調講演: 吉見 俊哉 (デジタルアーカイブ学会会長、東京大学教授)
- デジタルアーカイブ学会学会賞授与式
- 懇親会

■ 11月26日(土)

企画セッション(午前・午後)

- 「文脈」を伝える——アジア・アフリカをアーカイブするための方法的探究 (沖縄県立図書館)
- (沖縄発) 形あるもの、沖縄の歴史のDA化 (沖縄県立美術館・博物館)
- (沖縄発) 戦後文書資料の保存と活用 (沖縄県公文書館)
- デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議 in 沖縄 (琉球大学 50周年記念館)
- (沖縄発) メディアのコンテンツとデジタルアーカイブ (沖縄県立図書館)
- (沖縄発) 残りにくい文化をどうするか—沖縄芝居を中心に (沖縄県立美術館・博物館)
- DX化する社会とデジタル公文書 (沖縄県公文書館)
- (沖縄発) 自治体のアーカイブ活用 (琉球大学 50周年記念館)

■ 11月27日(日)

- エクスカーション(オプション)

■ サテライト・セッション、オンライン一般研究発表も実施

<http://digitalarchivejapan.org/kenkyutaiikai/7th/>

お問合せ: 研究大会事務局: taiikai@digitalarchivejapan.org



デジタルアーカイブ学会 第7回研究大会（沖縄）

■参加方法

<https://peatix.com/event/3351760>

■参加費

デジタルアーカイブ学会正会員：3000円
同学生会員：無料
同賛助会員：3000円
非会員：5000円
現地非会員：3000円（沖縄在住または勤務の方）
懇親会：3000円
チュートリアル（2022/11/25 午前）2000円（学生会員無料）



2022年11月25日（金）

会場：琉球大学千原キャンパス（〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町 字千原1番地）

■チュートリアル（10:00～11:45）（参加費2,000円） （学生会員は無料）（チュートリアルだけの参加も可能です）

●チュートリアル 1. デジタルアーカイブの公開技術（IIIFとOmekaを中心に）（琉球大学50周年記念館会場1）

【講師】中村 覚 氏（東京大学 史料編纂所）

●チュートリアル 2. メタデータ：戦争関連資料（琉球大学50周年記念館会場2）

【講師】水島 久光 氏（東海大学）

●チュートリアル 3. デジタルアーカイブの法と権利（琉球大学50周年記念館会場3）

前田 拓郎 氏（弁護士）

■一般研究発表（琉球大学50周年記念館会場1～4）

13:00～13:55 一般研究発表（C1, D1, E1）（現地発表の部）

14:05～15:20 一般研究発表（C2, D2, E2）（現地発表の部）

■全体会議（琉球大学文系講義棟大教室 215）

15:35～15:40 開会あいさつ

15:40～16:10 基調講演「沖縄を学びなおす——デジタルアーカイブに何ができるか」

吉見 俊哉（デジタルアーカイブ学会会長、東京大学教授）

16:10～16:50 討論

17:05～17:45 デジタルアーカイブ学会学会賞授与式

■懇親会（琉球大学50周年記念館）



研究大会実行委員長
真喜屋 力



副委員長
平良 斗星

■主な学会登壇者



吉見 俊哉
（東京大学教授、
本学会会長）



福井 健策
（弁護士、本学会
法制度部会長）

2022年11月26日（土）

■企画セッション（分散会場）

■10:00～12:00

●セッション 1. 「文脈」を伝える——アジア・アフリカをアーカイブするための方法的探究（会場：沖縄県立図書館）

・司会：熊倉和歌子（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

・パネラー1：倉部慶太（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

・パネラー2：野林厚志（国立民族学博物館）

・パネラー3：深見奈緒子（日本学術振興会カイロ研究連絡センター）・吉村武典（大東文化大学）

・コメント：木村大治（京都大学名誉教授）

●セッション 2. （沖縄発）形あるもの、沖縄の歴史のDA化（会場：沖縄県立美術館・博物館）

今、沖縄のアーカイブや文化行政は、デジタルアーカイブの構築をどのように考え、問題点を抱えているのだろうか？

また観光立県として、デジタルアーカイブを利用し得られる可能性など、経済的な分野へ可能性なども含め、沖縄の有形文化財に対する現状を語る。

●セッション 3. （沖縄発）戦後文書資料の保存と活用（会場：沖縄県公文書館）

・プレゼンター：沖縄県公文書館 大城博光さん

・不屈館 内村千尋さん

・司会：水島久光 コメンテーター：

●セッション 4. デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議 in 沖縄（会場：琉球大学50周年記念館）

・太下義之（文化政策研究者、同志社大学教授）

・加藤 諭（東北大学学術資源研究公開センター准教授）

・呉屋美奈子（恩納村文化情報センター、沖縄国際大学非常勤講師）

・平良斗星（公益財団法人みらいファンド沖縄副代表理事）

・田村卓也（南城市教育委員会デジタルアーカイブ専門員）

・平田大一（沖縄文化芸術振興アドバイザー、演出家、脚本家、南島詩人）

・福井健策：司会

・三好佐智子（EPAD2022 事務局長、有限会社 quinada）

・柳と志夫（東京大学大学院特任教授）

■14:00～16:00

●セッション 5. （沖縄発）メディアのコンテンツとデジタルアーカイブ（会場：沖縄県立図書館）

・OTV 沖縄テレビ放送 山里 孫存 報道制作局次長

・琉球新報社 米倉 外昭 論説委員

・NHK 放送文化研究所 大高 崇 主任研究員

進行 吉見 俊哉 東京大学大学院 情報学環 教授 デジタルアーカイブ学会 会長

●セッション 6. （沖縄発）残りにくい文化をどうするか—沖縄芝居を中心に（会場：沖縄県立美術館・博物館）

・大宜見しょう子（沖縄芝居大伸座）

・真喜屋力（沖縄アーカイブ研究所）

・その他調整中

●セッション 7. DX化する社会とデジタル公共文書（会場：沖縄県公文書館）

・古賀崇（天理大学）

・東健二郎（Code for Japan）

・沖縄関係者

・福島幸宏（慶應義塾大学）

●セッション 8. （沖縄発）自治体のアーカイブ活用（会場：琉球大学50周年記念館）

沖縄県内でチャレンジを続ける自治体のアーキビストの方々のインタビューを聞きながら今後のデジタルアーカイブの蓄積とその活用の展開を考えていく分科会です。